

初志をいつまでも忘れず
行動し続けます。

西宮市議会議員

田中まさたけ 市政報告



～政策実現速報～

西宮学区の公立普通科高校入試において、これまで50年以上にわたり続いてきた総合選抜制度が改められ、平成21年度入試(平成19年3月現在で中学1年生の高校受験)から複数志願制度が適用されることが決定しました。

蒼志会で総合選抜制度を改める趣旨の意見書提出を提案し、調査と意見書の作成などの準備を入念に行い、平成17年12月議会において意見書を提出、可決されました。そして、県議会においても、筒井のぶお県会議員が質問で取り上げるなど連携して取り組んだ結果、行動を起こしてからほぼ最短での実現となりました。

今後は、これからの2年間で、制度の説明等の準備が充分に行われるよう求めると同時に、高校の特色化や内申書の不公平の問題等にも随時取り組みたいと考えています。

『行動する政治』

■行動する政治・提案する政治～改革と創造のために必要なのは地道な行動～

これまで、議会の閉会中に、発行したチラシを持って早朝の駅前や街なか立ち、報告活動を行ってきました。そして、チラシを見て連絡を頂いたり、街なかで声を掛けて頂き、多数のご意見を伺うことができました。私にとって、議会で政策や施策・制度を提案する上で、そうした意見が非常に参考になっています。

これまでの4年間、「より多くの方から意見を聞く⇒現場での問題点を分析する⇒政策や施策・制度の改善策に反映する⇒行政(市)に対して議会で提案していく⇒その結果をまた報告する」という地道な活動を繰り返してきました。そして、急には市政や政治が変わらないことも実感してきました。だからこそ、そうした地道な議会の内外での行動が、これからの西宮を創っていく上で最も重要なことだと考えています。引き続きご注目下さい。

中面：税金のゆくえ～新年度予算の概要～/議会改革の進捗/一般質問の概要を掲載

<http://www.masatake.jp/>

■約束のかたち：「活動記」の発行

「選挙の前だけ皆さんの前に現れる政治家にならない」と皆さんに「約束」しました。そして、「soushikai press」を議会が終わるたびに発行し、全市で配布してきました。

また、そこで掲載し切れなかったことを中心に掲載した「活動記」も発行し、街なかで配布してきました。こちらは、人的な限界から、まだ、限られた地域にしかお配りできません。バックナンバーをご希望の方、今後毎号の配布をご希望の方、「活動記」の配布にご協力いただける方は、是非とも下記の連絡先までご連絡下さい。

◆これまでに発行した「活動記」

これまでに「号外中間報告号」と創刊号から第13号まで発行しました。

創刊号から第10号までと「中間報告号(当選後2年半が経過した状況の報告)」については、私のホームページからダウンロードできるようになっています。また、以下のものについては、事務所に在庫を用意しています。

第11号(「税金のゆくえ」連載開始、福祉関連経費の内容の報告)

第12号(平成18年に行った一般質問の概要と経過)

第13号(総括：目標に対する成果の通信簿/3年半の発言の概要と進捗状況)

■意見交換会は、随時受付しています

早朝の駅前や街頭で活動したり、会合や勉強会に参加した際に、市政に関するご意見を伺うことが多く、皆さんが何かと市政に対するご意見をお持ちであることを実感してきました。そして、「駅前や街頭では話しにくい、別途市政に関する報告会・意見交換会を開いたらどうだ」といったご意見を伺うことも増えました。そこで、当方(サポート倶楽部)で日程や議題・会場を決めて集まって頂くよりも、皆さんのご希望に合わせた議題や日程で行ったほうが、実効性のある意見交換もでき、話の幅も広がると考え、形式や人数も問わず募集を始めました。その結果、既存の勉強会等に呼んで頂くなど少しずつ申し込みも増えています。

意見交換・出前市政報告をご希望の方は、随時受け付けておりますので、封書・お電話・FAX・E-MAILのいずれかの方法で是非とも以下の連絡先までご連絡下さい。日程や場所・議題を調整させて頂いたうえで、開催いたします。



～田中正剛とは～

昭和50年7月 会社員の家庭に生まれる
平成6年3月 大阪府立四條畷高等学校卒業
平成11年3月 神戸大学工学部卒業
大学卒業直後から、元西宮市議会議員筒井のぶお(現兵庫県議会議員)事務所に4年間勤務
平成15年4月 西宮市議会議員選挙初当選(当時27歳)
現在、西宮市議会最年少で活動中
■担当委員会
1年・2年・4年目：建設常任委員会(2年目は副委員長)
3年目：厚生常任委員会(委員長)

市政に対するご意見・ご問い合わせは・・・

〒662-0854

西宮市櫛塚町1-14 光永ビル2F
(兵庫県西宮市南南南南)

TEL. 0798-22-5172 FAX. 0798-34-8353

E-mail ■ masatake@soushikai.gr.jp

発行責任者：田中 正剛

～議会改革～

■4年間の改革の概要

この4年間で改革された主な内容をご報告します。引き続き、議員の処遇問題についても、議論を深めたいと思います。

◆交通チケットの廃止

年間22万円分(タクシーチケットや電車のプリペイドカード等の使用上限)支給されていた交通チケットが、4月から全額廃止されることが、昨年の12月議会に決定しました。

◆政務調査費の領収書添付

今3月議会において、政務調査費の領収証の添付を義務付ける改正条例が可決し、時期の議員から、領収証が添付されることになりました。

◆費用弁償の見直し

各種審議会や特別委員会の見直しにより、総額は減額されましたが、まだ改革の余地が残されていると考えています。

■今後の課題

◆議員定数の削減

次期の議員の課題となりました。引き続き、

まずは5名以上の削減を目標に取り組みたいと考えています。

◆議員提出による政策条例の策定

政策に関する条例は、すべて市長(行政)からの提案となっています。住民の代表である議会主導・住民主導の行政運営を実現するためには、議員も政策条例を提出し、議論を深める必要があると考えています。4年間議会活動を経験し、現状では大変難しい課題であると実感していますが、挑戦したいと考えています。

～税金のゆくえ～

■新年度予算の概要

新年度の一般会計予算は、歳入歳出1486億1950万円となり、特別会計(国民健康保険や介護保険など)と企業会計(水道や中央病院)を合わせると、2912億2242万円で決定しました。そして、一般会計と特別会計をあわせた平成19年度末での市債残高(借金)は、2074億9000万円、基金残高(貯金)は、148億9000万円となる見込みです。

平成15年度末に、平成20年度までの財源不足額が約321億円と見込まれ、赤字再建団体への転落も危惧される状況にありました。しかし、再三にわたり実施の必要性訴えた「第3次行財政改善実施計画」が断行され、財源不足はほぼ解消されました。しかし、財源不足が解消されただけで、固定経費の比率は100%を超えており、財政の自由度が低い状態です。引き続き、

財政の健全化に向け、「行政経営改革」による公務員の意識改革、意思決定工程の適正化を主張したいと考えています。

下の表は、歳出については、全体に占める割合の多い経費と議会関係経費の推移と増減を示しました。歳入は、昨年度比の増減幅の大きいものを掲載しました。中身の分析は次号以降でご報告したいと思います。
(百万円未満四捨五入)

一般会計			平成15年度	⇒	平成18年度	平成19年度	昨年度予算との比較
一般会計予算総額			1564億9400万円		1582億800万円	1486億2000万円	－95億8800万円
歳出	主な内訳	議会関連経費	9億5800万円(0. 6%)		8億7600万円(0. 6%)	8億9200万円(0. 6%)	+1600万円
		民生(福祉)関連経費	398億4000万円(25. 5%)		434億5600万円(27. 5%)	450億8300万円(30. 3%)	+16億2700万円
		土木関連経費	257億3400万円(16. 4%)		229億3100万円(14. 5%)	221億5400万円(14. 9%)	－7億7700万円
		教育関連経費	182億4900万円(11. 7%)		165億2400万円(10. 4%)	173億5800万円(11. 7%)	+8億3400万円
		公債費(借金の返済)	332億1100万円(21. 2%)		396億8900万円(25. 1%)	277億5700万円(18. 7%)	－119億3200万円
	人件費(各経費の中に含まれている人件費)		376億700万円(24%)	⇒	348億800万円(22%)	349億8400万円(23. 5%)	+1億7600万円
	人件費のうち 主要な内訳	給料	143億8800万円		130億1500万円	128億6500万円	－1億5000万円
		手当	154億2900万円		141億1800万円	144億5000万円	+3億3200万円
歳入	主な内訳	市税収入	779億4100万円(49. 8%)		786億6400万円(49. 7%)	835億6900万円(56. 2%)	+49億500万円
		繰入金(主に貯金の取り崩し)	68億2800万円(4. 4%)		31億7000万円(2%)	7億8500万円(0. 5%)	－23億8500万円
		市債(借金)	144億4400万円(9. 2%)		205億3300万円(13%)	89億8800万円(6%)	－115億4500万円

～議会報告・政策提案～

■平成19年3月議会での一般質問の概要

この3月議会が今任期最後の定例議会(第16回)となり、10回目の一般質問を行いました。紙面の都合上、項目と概要のみとなりますが、ご報告します。

◆JR さくら夙川駅開業後の諸問題について

駅前広場のない駅での交通処理の問題を指摘するとともに、計画収容台数分の駐輪場を整備ができなかった中での放置自転車対策の強化を求めました。

◆放置自転車対策について

鉄道事業者の協力を前提とした「自転車等の駐車対策に関する総合計画」の策定の必要性を提言しました。そして、地域による自主的な放置自転車の撤去活動を可能とする制度の創設を求めました。

◆西宮の海洋資産・環境の保全について

◆留守家庭児童育成センター入所児童の安全対策について

育成センターの施設を活用し、ファミリーサポート事業との連携・保護者との協働のもとで、入所児童の安全対策が早急に進められるよう提言しました。

◆浜脇小学校の建替えについて

場当たり的な意思決定方法を取り上げ、市役所の意識改革が進んでいないことを指摘しました。

■今後も取り組む重点項目

～ルールを守って努力する人が

「不利益」を被らない市政の実現～

◆行政改革と財政改革

民間活力の導入による効率化とサービスの向上 / 入札・契約事務の適正化 / 住民との協働のサポートなど

◆子育て・教育環境の向上

複数志願制度の推進 / 「学校評価」を活用した公立小中学校の教育環境の改善 / 子供の安全対策の強化など

◆持続可能な福祉制度の創設

高齢者福祉と障害者福祉に重点をおいて、現場の状況に応じた持続可能な政策・制度に取り組みます。

詳細は、

<http://www.masatake.jp/> をご覧ください。